

【研究課題名】「生殖補助医療による治療成績を規定する要因に関する研究」に対するご協力をお願い

研究代表者 所属 福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター 職名 教授
氏名 高橋 俊文

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（生殖に関する諸登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

日本産科婦人科学会の ART 登録参加施設で、2007 年から 2016 年に生殖補助医療（体外受精、顕微授精、凍結融解胚移植などの治療）に関する治療を受けた患者を対象とします。

2 研究課題名

承認番号

研究課題名 生殖補助医療による治療成績を規定する要因に関する研究

3 研究実施機関

福島県立医科大学福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター

研究責任者：高橋俊文

4 本研究の意義、目的、方法

【研究の背景】生殖補助医療（assisted reproductive technology, ART）は、体外受精・胚移植治療（IVF-ET）に代表される高度不妊治療です。現在わが国では年間、約 40 万周期と世界的に見ても数多くの ART 治療が行われています。一方、出生した児の数は年間約 5 万人であり治療周期当たりの治療成績が低率であると指摘されています。わが国の ART 治療データベースでは、採卵周期（卵子を採取）と胚移植周期（受精卵を子宮に戻す）は同じ 1 治療周期としてカウントされることがその要因の一つですが、その他の要因に関する検討はされていないのが現状です。

【研究の目的・意義】本研究では、日本産科婦人科学会で行っている ART 登録データベースを用いて、ART 治療周期の治療成績を規定する要因を明らかにすることを目的とします。わが国では ART

治療による出生数は全出生数の 1/18 となっており、わが国の ART 登録データベースを用いて治療成績の規定要因を検討することは ART 治療成績を向上させる可能性があり、このことは社会的にも意義の高いものです。

【研究の方法】研究の対象：日本産科婦人科学会の ART 登録参加施設 (http://www.jsog.or.jp/facility_program/search_facility.php) で、2007 年から 2016 年に生殖補助医療（体外受精、顕微授精、凍結融解胚移植などの治療）に関する治療を受けた患者について、日本産科婦人科学会の ART 登録データベースに登録された全治療周期を対象データとします。ART 登録の全治療周期で、胚移植できた治療周期と胚移植できなかった治療周期について検討を行います。胚移植できた治療周期については、妊娠、生産、流産について、各種パラメータ（治療開始時の年齢、ART の適応、新鮮胚移植周期、融解胚移植周期、移植胚のステージ、移植胚数）を用いて統計解析を行い、治療成績に関するリスク因子を検討します。

5 協力をお願いする内容

ART 登録データベースに登録された診療に関するデータの利用。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2022 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者：高橋俊文

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター
電話:024-547-1385
FAX: 024-547-1386
e-mail:totakaha@fmu.ac.jp

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: nissanfu@jsog.or.jp